

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

財部ライオンズクラブ 木製ベンチを寄贈



11月22日、財部ライオンズクラブの皆さんが、財部駅と財部支所思いやりタクシー待合所に財部産木材を使用したベンチを寄贈しました。

財部駅は改装されて以来、これまで上り線のホームにベンチがなく、電車を利用される方々から要望が寄せられていました。

そこで、ライオンズクラブの方々が「結成10周年記念」の一環で「チャリティグランドゴルフ大会」を開催し、参加者の募金の一部を使ってベンチを作り寄贈しました。

このベンチは、森林組合から寄贈された丸太を使って作ったもので、心地よい木の香りと背部に風除けもつけるなど大変立派で、「木材のまち財部」を十分アピールできるものでした。

森園茂会長は、「今後も感謝の心・和の心・奉仕の心・郷土愛をテーマに色々な場面で地域貢献に努めていきたい」と話されていました。

財部高校生 ボランティア活動で充実した一日



11月6日(財部高校の2・3年生総勢78名)の生徒さん方が、財部駅やいきいき親水公園のボランティア清掃を行いました。

この活動は、総合的な学習の一環として毎年行われているもので、活動を通して勤労の尊さを再確認したり、集団行動における個人の責任や役割について体験的に学んだりすることを目的に行われているものです。

当日は、澄みきった青空の中、財部駅やいきいき親水公園の除草やごみ拾い、落ち葉集めなど全員汗だくになりながら一生懸命取り組んでいました。

親水公園では、3袋分のゴミを拾うなどゴミを投げ捨てる人が意外に多い事と自分達はどこに行っても決してそれをしてはいけないという事を感じたようです。

生徒さん方は、その日の天気同様晴れ晴れしい充実した一日になったのではないのでしょうか。

先人への感謝の気持ちを忘れずに



11月28日、高松記念碑公園で高松開田100周年記念式典を約300名の方々が参加して盛大に開催されました。

当日は穏やかな小春日和の中沢山の来賓を招き、まず除幕式が行われ、先人達の偉業に感謝しました。

その後、式典が始まり吉森真さんがここまでに至った経過報告をされました。その中で数々の災害等の色々な苦勞がありましたとエピソードを交えて紹介されました。

末吉高松土地改良区理事長の南脇敬一郎さんは、「先人への感謝の念や沢山の方々のご尽力でこの近代的な圃場が完成した事を忘れてはならない。そして後世にこの事を伝えていきたい。日本の農業は厳しい現状ではあるが、開田魂で今後も切り抜けていきたい」とおっしゃいました。

正しいルールで楽しくプレーを



11月26日、末吉町住吉の清寿園グランドで、園に入所されている方々と職場体験学習に来ていた南之郷中学校2年生5名が参加して、グランドゴルフのルールの講習会がありました。

当日は、NPO法人どんぐり谷自然塾の大森貢さんを講師に招き、グランドゴルフのルールやマナーについて詳しい説明と実技がありました。

参加していた南之郷中の豊満さくらさんは、「高齢者の方がうまいのにはびっくりしました。こんな機会がまたあればよいと思います」と話してくれました。

園から参加した山元マスエさんは、「今日は、若い人達と楽しくプレーする事ができました。正式なルールを教えて貰うことができて本当に良かった。今後は、もっと練習して自分達で楽しい時間を過ごしていきたい。」とおっしゃっていました。

宝くじの助成金でプロジェクター及び音響機器を整備



平成21年度コミュニティ助成事業により、大隅中央公民館にビデオプロジェクターと音響機器を整備しました。

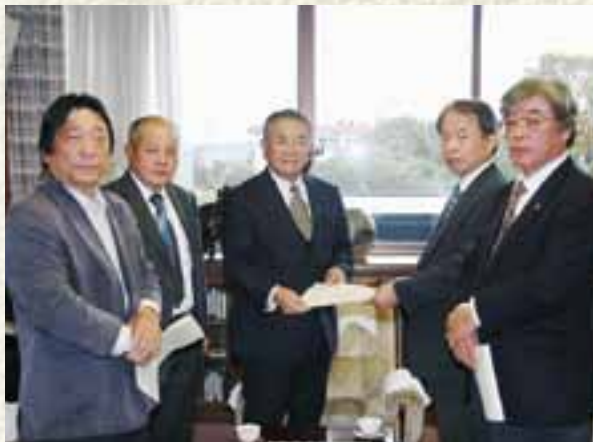
この事業は、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指すもので、財団法人自治総合センターが、コミュニティ活動に直接必要な設備の整備を支援しています。これらの機器は、今後、公民館等で行われる様々な行事に活用されます。



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

農業の振興のために…



12月3日、農業委員会の池田一信会長らが市長室を訪れ、「曾於市農業振興政策についての提言書」を提出されました。

この提言書は、曾於市農業委員会から市当局に対して毎年提出されているもので、今年は、甘藷の新品種の導入確保と農業生産所得拡大及び食品加工施設等の誘致についてをはじめ、農業用廃ビニール等の一時保管場所及び堆肥ストックヤード設置、畜産農家の支援、遊休農地対策としての飼料稲の導入、食育の推進と地産地消、担い手の育成確保と異業種交流についての全6項目が盛り込まれた提言書を池田市長へ手渡しました。

池田市長は、それぞれの項目ごとに問題点や課題点を話した後、「いただいた提言書をもとに、十分検討して、前向きに取り組んでいきたい」と話されました。

奄美の島唄と津軽三味線から日本の北と南の三味線に感動



12月6日、大隅文化会館で、日本の伝統楽器である三味線を奄美島唄と津軽三味線で楽しめる「三線の響」コンサートが開催されました。

島唄は、奄美民謡大賞を受賞した喜界島出身の永志保さんと牧岡奈美さんが、「朝花節」や「ワイド節」などの奄美島唄やふるさとの心をつづったオリジナル曲を、三線やピアノ、そして抜群の歌唱力で歌い上げました。また、津軽三味線は、地元大隅町に在住の柏木勝弘さんが主宰する「津軽三味線 絃弘会」が、「津軽じょんがら節」や「あいや節」などを力強い撥さばきで演奏し、津軽の世界を表現しました。

どちらも、日本の伝統楽器である三味線を十二分に楽しめた感動のコンサートとなりました。

チヨダ地域保健推進賞受賞



12月2日、保健師、曾於市歯科衛生士、栄養士のメンバーが、第13回保健活動助成「チヨダ地域保健推進賞」に入選したことから、市長室で表彰式が行われました。

この賞は、厚生労働省所管の財団法人千代田健康開発事業団が、毎年全国各地で地域保健の推進に貢献している保健師やグループ50団体を顕彰し、副賞として助成金20万円を贈呈しています。

この受賞は、平成18年度から市内の幼稚園児を対象に市の保健師、歯科衛生士、栄養士の各専門職が一体となり、ブラッシング指導やおやつ指導を実施した結果、園との連携が密になり歯科保健活動がスムーズに流れるようになった事を評価されての受賞です。

副賞の20万円は、今後の歯科保健活動に使われるそうです。

市内産お茶を贈呈 曾於市茶業振興会



11月25・26日、12月2日に曾於市内の老人ホームや中学校等施設へ市内産のお茶が贈呈されました。

このお茶の贈呈は今年度より「曾於地区茶業振興会」が近年のリーフ茶消費減退や荒茶価格が低迷しているため消費拡大の一つとして企画されたものです。

今回、曾於市茶業振興会各支部長より曾於市内施設へ配布され、今後は部活動後や食事・お茶の時間に使用されるそうです。

今回の配布先は次のとおりです。大隅中学校、清寿園、輪光無量寿園、すみよしの里、末吉学園、たからべ園、寿豊苑。

今年も地産地消メニューに感激！



12月5日、末吉総合センターで、「やる気・元気・おでじょパワーイベント2009」が開催されました。

これは、市内の女性農業者等の皆さんで構成しているおでじょパワー実行委員会が毎年開催しているもので、今回で12回目の開催。今年は、「地域に咲かそう女性パワー」「曾於の大地を食べる」のテーマのもと、会場いっぱいには市内外の参加者を迎え盛大に開催されました。

当日は、鹿屋市在住で農業体験や農泊施設「元気印」の菜園畑を営まれている堀之内節子さんを講師に招き、「生命 輝かせて 生きる」と題しての講演では、参加者は真剣に耳を傾けていました。また、地場産品を活用した多くの地産地消メニューが並ぶと、参加者は一品一品味わいながら盛んに情報交換などを行う姿が見られました。

自分の目標に向かって激走！！



12月13日、大隅文化会館周辺マインドロードで第5回曾於市ロードレース大会が、関係者も含め約250名参加の中盛大に開催されました。

当日は、澄みきった青空のもと絶好のロードレース日和となり、2キロ～10キロの部までの5種目が行われそれぞれの目標に向かって一生懸命激走する姿がとても印象的でした。

鹿屋から参加した鹿屋南小学校6年の今村彪雅君（高山ジュニア陸上クラブ所属）は、「今回で3回目の出場、小学校最後の年に優勝する事ができてとてもうれしかった。中学校になっても一生懸命練習してまた来年もこの大会に出場したいです」と笑顔で元気に話してくれました。